

## 1 授業時数特例校制度導入の考え

### (1) 実施の目的

- 授業改善の前提となる「学びに向かう姿勢」の育成
- 話をしっかり聞くことを基盤とした学習規律の育成
- 基礎・基本の確実な習得と定着の充実
- 友だちと協働して学ぶ学習活動の充実
- 児童一人ひとりの興味・関心を深化させる主体的な学びの充実

### (2) 解決を図る学校課題

- 令和5・6年度において、本校が直面していた最も重大な課題は「学力の低下」であり、NRT 学力テストの結果や全国学力・学習状況調査のデータをもとに分析したところ、5段階評価で「1・2」とする児童の割合が急増していることや、無答率の高さが目立つことが明らかになった。

○NRT 教科総合	令和5年度：51.0
	令和6年度：50.1
学力学習状況調査	令和5年度：国 67 算 66
	令和6年度：国 65 算 60

### (3) 保護者・地域住民への周知

- 令和7年度2月発行の学校だよりによる保護者・地域住民への周知
- 学校のブログによる保護者・地域住民への周知

## 2 各教科等年間授業時数

上段…学校教育法施行規則に定める標準授業時数 下段…変更後の授業時数（授業時数の増減）

学年		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科の授業時数	国語	306 316 (+10)	315 325 (+10)	245 255 (+10)	245 255 (+10)	175 185 (+10)	175 185 (+10)
	社会	-	-	70 65 (-5)	90 85 (-5)	100 95 (-5)	105 100 (-5)
	算数	136 146 (+10)	175 185 (+10)	175 185 (+10)	175 185 (+10)	175 185 (+10)	175 185 (+10)
	理科	-	-	90 90	105 105	105 105	105 105
	生活	102 97 (-5)	105 100 (-5)	-	-	-	-
	音楽	68 63 (-5)	70 65 (-5)	60 55 (-5)	60 55 (-5)	50 45 (-5)	50 45 (-5)
	図画工作	68 63 (-5)	70 65 (-5)	60 55 (-5)	60 55 (-5)	50 45 (-5)	50 45 (-5)
	家庭	-	-	-	-	60 55 (-5)	55 50 (-5)
	体育	102 97 (-5)	105 100 (-5)	105 100 (-5)	105 100 (-5)	90 90	90 90
	外国語	-	-	-	-	70 70	70 70
	特別な教科である道徳の授業時数	34 34	35 35	35 35	35 35	35 35	35 35
	外国語活動の授業時数	-	-	35 35	35 35	-	-
総合的な学習の時間の授業時数	-	-	70 70	70 70	70 70	70 70	
特別活動の授業時数	34 34	35 35	35 35	35 35	35 35	35 35	
<b>合計</b>	<b>850</b>	<b>910</b>	<b>980</b>	<b>1015</b>	<b>1015</b>	<b>1015</b>	
学校行事	34	34	33	34	46	39	
児童会活動	6	6	10	10	10	10	
クラブ活動	-	-	-	6	6	6	

第1学年の余剰を含めた総授業時数 [ 868時間] 余剰時数 [ 18時間]

第2学年の余剰を含めた総授業時数 [ 928時間] 余剰時数 [ 18時間]

第3学年の余剰を含めた総授業時数 [ 999時間] 余剰時数 [ 19時間]

第4学年の余剰を含めた総授業時数 [ 1034時間] 余剰時数 [ 19時間]

第5学年の余剰を含めた総授業時数 [ 1036時間] 余剰時数 [ 21時間]

第6学年の余剰を含めた総授業時数 [ 1033時間] 余剰時数 [ 18時間]